

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地（電話六三〇番） 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新報

第一版 金銭 一月 五元 廣告 五元 印刷 五元 電話 六三〇番

九月三日夕刊

大衆物の時代 小尾範治

（二）

けれども、人はその感情生活に於て、自然に趣味を求め、娯樂を欲するものである。殊に日常の生活が機械化して乾燥無味を加へるに伴ひ、その半動として、趣味や娯樂に對する要求は愈々大となるのである。それ故に、單に時代の敗壞化として、即ち時代が漸次快樂主義的或はデカタンの傾向くものとして貶し去るわけには行かないと思ふ。文明

が爛熟した結果、一面に於て時代の敗壞化として認めねばならぬ點があることは拒まれない事實であるとしても無味の生活に滯ひや味はひを加へようとする要求は非難すべきものではないかと思ふ、いづれにせよ如上の事由により文學、美術音楽、演藝、特に活動寫眞の如きものが、多數民衆より益々要求されるやうになつたのである

平町細屋町（縣社通り）

美味 評判 **イロキ** オの部電話四六〇番

看護婦派出所 平町南町 電話三〇七番

喫茶部開設

西村屋藥舖 平町二丁目（電三）

純民謠と新民謠の夕べ

プログラム

第一部

- 1 イ、鉦をおさめて
- 2 イ、朝草蒔り
- 3 口、鎮西小唄
- 4 松前追分
- 5 イ、木曾節
- 6 口、上州小唄
- 7 イ、紅屋の娘
- 8 口、青い芒
- 9 佐渡おけさ
- 10 箱根八里
- 11 篠山節

第二部

- 1 荒城の月
- 2 秋田おぼこ
- 3 城ヶ島
- 4 波浮の港
- 5 雀踊
- 6 ヴァネオリオン獨奏
- 7 ジョセランの子守唄
- 8 スーベニール
- 9 イ、遠島甚句
- 10 口、霞町小唄
- 11 イ、龍峽小唄
- 12 口、小田原小唄
- 13 馬子唄
- 14 からたちの花
- 15 故郷はなれて

唄手及び伴奏

御前演奏の光榮に浴せるガンソーネ

三島一聲氏

樂園の花と歌はるソプラノ聲樂家 太田ぬい子嬢

第一ヴァネオリオン 中山 良氏
第二ヴァネオリオン 井澤 次氏
ヴァネオリオン獨奏 高木 豐氏
セピアノ 坪川 美氏
ビアンノ 山田 明氏

期日……九月四日、五日午後六時より

場所……平町 聚樂館

後援 常盤毎日新聞社 三島一聲後援會

公債、兩替 債券、質商

多田井ワカ商店 平町大工町

セメント 壁用材料 コールタール ベンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舖 平町二丁目（電三）

原齒科醫院 平町土橋通り電話三一三番

外科 專光 門線 科線

入院應需 上田外科醫院 平町南町 電話一二九番

磐城セメント會社特約店

久金屋商店

磐城平町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣、勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

緊縮方針に崇られた 小名濱町で町民大會

地價の暴落を來し 悲惨な状態に陥る

石城郡小名濱町は昨年商港計劃具體化以來、食糧製氷等の株式會社計劃や個人的の投資等により地價の暴騰を促し貸家の如きは一日平均二戸位の率を以て

建築され 商港實現

の曉は平町を抜く隆盛を來す事と豫想され他町村よりの移住者も相當増加の傾向を見つゝあつた處現内閣の緊縮方針により商港豫算の大削減を見た結果倉庫會社創立の如きは直ちに中止となり續いて地價の暴落を來し家屋建築もその姿を見せぬ悲惨なる状態に陥つた之が爲め

同町にて 明年度豫算

算には如何なる犠牲を拂つても當初の豫定計劃による工費の計上を實現せしむ可く運轉すべく決定し目下歸省中の比佐代議士を湯本町に訪問し運動援助に付いて懇談し豫算編成期には再び町民大會を催催猛運動を試むる方針に決定した

農業經營を

飯野村電化

實行組合の手で 理想的に出来る

石城郡飯野村農業實行組合では數年前から農業經營を全部電化にせんと計劃し着

販賣値段は左の如く東京市場に比し一俵約一圓の高値を唱へてゐた

四等十一圓十五錢三等十一圓四十三錢二等十一圓

平年より心…… 一割増收は確實

早くも持米を手放し 相場は一圓に下落

石城郡地方の稻作状況は發育が極めて良好で天候も順調であり氣付かはれてゐた大厄日の二百十日も

無事平穩

に過ぎたので平年作の一割以上の増收は疑いないものとなつて來た石城郡地方の平年作の收穫高は十五萬石内外であるから此分を進めれば一割増として十六萬五千石二割増と見て十八萬石位の收穫と見られてゐるが此豊作の

確定的の

ものとなつた結果反動的に米價が下落するのではないかと見られ農家は却て之を氣づかつてゐる自作農小作人等は不景氣のため早く持米を手放してしつてゐるので相場は昂騰するまで持米を保存

六十三錢
右の如き好取引を示したは二百十日も懸念なく米價先高の見込もなく豊作が豫想されてゐる結果である

民謡唄手

愈よ明日から

四五の兩日聚樂館に開催する「純民謡と新民謡の夕べ」に出演する日本一の民謡の唄手として折紙付きの三島一登氏、ソプラノ聲樂家太田ぬい子嬢其他の一行は本日上野を出發午後七時三十分中野下車り列車にて來平住吉屋本店に投宿、明四日午後二時から警女、藤田、平陽各學校生徒の爲めに演奏するを皮切りに初秋の平町に於ける音楽界を飾る事と



庭家

初秋の漬物

◆しば漬 茄子、めうが
◆しん漬 茄子、めうが
◆紫蘇の(青唐辛子でも可)

農業

技術員補助

石城郡農會では農業技術員を設置して補助の申請をしたので縣は内容を調査し四百八十圓を補助交付することになつた

各種團體から 縣當局へ陳情

石城郡各種團體では舊郡役所に警察署が移轉する事に決した爲め事務所に困り抜いた結果最後の案として

鬼の耳

生きたり二
百五十年 康熙帝
時代支那四川省會
理縣に生れ當年と
つて二百五十二歳の李珍元
といふ世界第一のすばらしい
老人のゐることがわかつた、
李さんは幼より藥種商
を營み貴州雲南の山奥まじ
藥草を採集して渡世して來た、
頭髪や鬚などは百歳の時に
白くなつたが今でも元氣で
話もはつきりし食慾も人に
負けず歩行も平氣である
これまで妻をめぐること
三名、最後の細君が今生
きてゐて六十歳百歳の時に
時の皇帝から御褒美をもら
ひ二百歳の時も長壽の御褒
美をもらつた、また昨年楊
森將軍はわざ／＼この老人
を萬縣に招いて長壽祝賀の
盛宴を張り、今様浦島から
過去のいろ／＼な物語りを
聞いて非常に興がたつたとい
ふ、李老人の面相は頗る秀
いで、長く兩耳は福神のや
うに大きく垂れ一見仙人そ
のまゝだといふ近く民間大
學の招聘で北平醫物に行く
と

秋の着物

今秋の柄物

昨秋秋以
來提唱さ
れてゐる
新光悦模
様は温健
に優雅酒
脱の表現味を以て極めて純
日本のな感懐をたゞえたも
のとして各方面から迎へら
れて居りますが、今秋は光
悦翁の洗練され盡した自
然の單化描寫や深い
自然に 對する凝視
から生れたその獨特の詩的
表現の骨法をとらへ光悦の
酒脱味を巧にいかし其の藝
術を薄墨色と金泥との世界
から近代的色彩の敏感さを
以てあたらしく生じた新

光悦模様が大成され日本の服飾界に獨白の而して傳統的の美しさと單純簡潔な味を齎して居ります之と同時に 歐洲の流行界に大きな勢力を形ち作つてゐる、近來趣味に一つの關聯を持つて天空と沙漠と大河との悠久な三つの自然を背景とした、熱國特有の絢爛たるエダント藝術を取入れた新エヂプト模様の出現があります、數年前までは柄として

すたれて云はゞ着實な日本の衣服には何處までも日本の趣味を發揮したものがこのまれて來たと見るべきです、色彩としても今春は黒系統のしづんだものが好まれて居りましたが

今秋も やはり村雨茶、露菊色、若橙色、紫曇

現々署廳舎を拂下げ舊郡衙東隣の敷地に團體事務所を建設する事として石城町村長會伏見支會長、早川濱三郡木炭同業組合長、安島石城郡農會會長等の三氏は三日出張し右陳情を重ねる筈であるが若し緊縮方針の爲め同陳情が容れられぬ場合は各種團體は別れ／＼とならねばならぬ事になるので成行き注目されてゐる

明日の天気
西風晴れ
たり曇つ
たり朝夕
涼氣増す